

タイトル：「疲れた者に優しく語られた生き方の処方箋」

主題：

聖書箇所：イザヤ40：1－31



40:1 「慰めよ。慰めよ。わたしの民を。」とあなたがたの神は仰せられる。

40:2 「エルサレムに優しく語りかけよ。これに呼びかけよ。

その労苦は終わり、その咎は償われた。

そのすべての罪に引き替え、二倍のものを主の手から受けたと。」

40:3 荒野に呼ばれる者の声がある。

「主の道を整えよ。荒地で、私たちの神のために、大路を平らにせよ。

40:4 すべての谷は埋め立てられ、すべての山や丘は低くなる。

盛り上がった地は平地に、険しい地は平野となる。

40:5 このようにして、主の栄光が現わされると、すべての者が共にこれを見る。

主の口が語られたからだ。」

40:6 「呼ばわれ。」と言う者の声がある。

私は、「何と呼ばわりましょう。」と答えた。

「すべての人は草、その栄光は、みな野の花のようだ。

40:7 主のいぶきがその上に吹くと、草は枯れ、花はしぼむ。

まことに、民は草だ。

40:8 草（民）は枯れ、花はしぼむ。だが、**私たちの神のことば**は永遠に立つ。」

40:9 シオンに良い知らせを伝える者よ。高い山に登れ。

エルサレムに良い知らせを伝える者よ。力の限り声をあげよ。声をあげよ。

恐れるな。ユダの町々に言え。「見よ。あなたがたの神を。」

40:10 見よ。神である主は力をもって来られ、その御腕で統べ治める。

見よ。その報いは主とともにあり、その報酬は主の前にある。

40:11 主は羊飼いのように、その群れを飼い、

御腕に子羊を引き寄せ、ふところに抱き、乳を飲ませる羊を優しく導く。

40:12 **だれが**、手のひらで水を量り、手の幅で天を推し量り、地のちりを枳に盛り、  
山をてんびんで量り、丘をはかりで量ったのか。

40:13 **だれが**主の霊を推し量り、主の顧問として教えたのか。

40:14 主は**だれと**相談して悟りを得られたのか。

**だれが**公正の道筋を主に教えて、知識を授け、英知の道を知らせたのか。

- 40:15 見よ。国々は、手おけの一しづく、はかりの上のごみのようにみなされる。  
見よ。主は島々を細かいちりのように取り上げる。
- 40:16 レバノンも、たきぎにするには、足りない、  
その獣も、全焼のいけにえにするには、足りない。
- 40:17 すべての国々も主の前では無いに等しく、  
主にとってはむなしく形もないものとみなされる。
- 40:18 あなたがたは、神を**だれに**なぞらえ、神をどんな似姿に似せようとするのか。
- 40:19 鋳物師は偶像を鋳て造り、金細工人はそれに金をかぶせ、銀の鎖を作る。
- 40:20 貧しい者は、奉納物として、朽ちない木を選び、  
巧みな細工人を捜して、動かない偶像を据える。
- 40:21 あなたがたは知らないのか。聞かないのか。  
初めから、告げられなかったのか。  
地の基がどうして置かれたかを悟らなかったのか。
- 40:22 主は地をおおう天蓋の上に住まわれる。地の住民はいなごのようだ。  
主は天を薄絹のように延べ、これを天幕のように広げて住まわれる。
- 40:23 君主たちを無に帰し、地のさばきつかさをむなししいものにされる。
- 40:24 彼らが、やっと植えられ、やっと蒔かれ、やっと地に根を張ろうとするとき、  
主はそれに風を吹きつけ、彼らは枯れる。暴風がそれを、わらのように散らす。
- 40:25 「**それなのに**、わたしを、**だれに**なぞらえ、**だれと**比べようとするのか。」  
と聖なる方は仰せられる。
- 40:26 目を高く上げて、**だれが**これらを創造したかを見よ。  
この方は、その万象を数えて呼び出し、一つ一つ、その名をもって、呼ばれる。  
この方は精力に満ち、その力は強い。一つももれるものはない。
- 40:27 ヤコブよ。なぜ言うのか。  
イスラエルよ。なぜ言い張るのか。  
「私の道は主に隠れ、私の正しい訴えは、私の神に見過ごしにされている。」と。
- 40:28 あなたは知らないのか。聞いていないのか。  
主は永遠の神、地の果てまで創造された方。  
疲れることなく、たゆむことなく、その英知は測り知れない。
- 40:29 疲れた者には力を与え、精力のない者には活気をつける。
- 40:30 若者も疲れ、たゆみ、若い男もつまずき倒れる。
- 40:31 **しかし**、主を待ち望む者は新しく力を得、  
鷲のように翼をかって上ることができる。  
走ってもたゆまず、歩いても疲れぬ。

## 導入

問題が起こった時。トラブルが生じた時に最も大切なこと。対処法。

—大学の研究室で学んだこと

「問題が起きたら、立ち止まり、原因を徹底的に調べ、そのための対策を施してから再び動きなさい！」「どうしてトラブルが発生したのか？その原因を突き止め、そしてその原因に対処をしてからでない…」

「ただ壊れた部品を交換しただけでは駄目だ！」と耳タコではなくて耳イカになる位よく言われた。

そうしないと、必ず同じ原因で、何度でもだめになる。何度でもトラブルが発生する。よく考えてみれば、それは分かりきったこと。

クリーンルームの中にいた、せわのやけるじゃじゃ馬。

宇宙空間と同程度の真空がつかれる高価な実験装置。

台風が来た時には泊り込み。雷が鳴って停電になりそうな時も泊り込み。

共同作業（チームワーク）によるまる一日ががりのメンテナンス・保守管理、点検作業、維持管理が大変だった。

ちょうど宇宙空間にロケットを打ち上げる時のようなもの。

一度ふたをしてポンプを作動させたら、もう手を出すことが出来ない。

長いベーキング作業。ヒーターでぐるぐる巻きにして熱で水分を蒸発させないと真空度が上がらない。

何日もかけて真空度を上げていった後、中でまたトラブルが起こると、…

またふたを開けて振り出しに戻る！

胃が痛くなるプレッシャー。責任。卒業出来るかどうか。

40:30 若者も疲れ、たゆみ、若い男もつまずき倒れる。

**症状：疲れた者、精力のない者、つまずき倒れた者、たゆんだ者**

たゆむ【弛む】とは？

I 【自マ五(四)】

- 1 張りつめていた気持がゆるむ。安心して気がぬける。おこたる。油断する。のんびりする。
- 2 勢いが弱まる。力がゆるむ。また、続くべきものがとだえる。とどこおる。
- 3 疲れる。だるくなる。
- 4 (まっすぐのものが)たるむ。ゆるむ。まがる。たわむ。

II 【他マ下二】たゆむようにさせる。心をゆるませる。油断させる。

いくら失敗してもたゆまなかった

たゆみない努力を重ねてこそ成功するのである

立派な政治家になろうとたゆまず努力した

彼はたゆむことなく実験を繰り返した

青年会のこれまでの歩み。あしあと

—青年伝道・コーヒータイム（毎週土曜日の夜に7時から8時半に教会二階で持たれていた伝道集会）が出来なくなってしまった。

今思うと、しばらく前から警告ランプ・赤信号が点灯していた。

喜び、感謝が消えると危険信号！

義務感と不平不満が多くなり、他人を裁きはじめたら、かなりやばい所まで病状は進行している。口からはため息しか出てこなくなると致命的な重症。

恵みを見失っている中でいくら熱心に奉仕を続けても、空回りするだけ！

ただプログラムをこなすだけ。

熱心であればあるほど、空回りをしてしまう。

出来るだけ早めに警告に気づいて対処すべき。早期発見。早期対処。

無理をすればするほど、大変なことになる。

先延ばしにすればするほど、リハビリのために長い期間が必要になってしまう。

早期発見、早期療養。

病気の手当てをし、からだを休めやしなうこと。病気の保養をすることが大切。

#### 原因・病んでいる理由

40:30 若者も疲れ、たゆみ、若い男もつまずき倒れる。

40:31 **しかし**、主を待ち望む者は新しく力を得、  
鷲のように翼をかって上ることができる。  
走ってもたゆまず、歩いても疲れぬ。

#### 考えられるいくつかの原因

掛け持ちの奉仕が増えた。

学生（いちばん動ける人）の減少。社会人の増加。

平均年齢のアップ。高年齢化。

コーヒータイムの運営に関わっていた者の一人として、やはり一番の原因は、主を待ち望まなかったことにあると思う。

キリスト者の歩みは短距離走ではない。マラソン。長距離走のようなもの。

世の中にはクリスチャンしか出来ないことが沢山ある！

マラソン選手がどうやって長いコースを走りきることが出来るのか？

コースのところどころにあるドリンクコーナーで水分を補給しながら走る。

もしそれをしなければ、脱水症状になる。そしてそれでも走り続ければ、つまずき倒れる。

では、主を待ち望むとは具体的にはどういうことか？

待ち望む＝自分の望むことが実現することを期待する。

主を待ちつつ＋主を望むこと

＝主に聴く祈りをする。主に呼びかけつつ主からの答えを待つこと。

＝主からの愛を受けること。主の大きな愛に取り囲まれること。主の愛に包まれること。

ベタニヤ村のマリヤさんの姿—主イエス様のことばに耳を傾け、聴く祈りをしている姿。

ガソリンスタンドに行って給油している状態。

あるいは充電器をコンセントに差し込んで、バッテリーを充電している状態。

水路の傍に植わっていて、いつも水を受けることができる木（←詩篇1篇）

新鮮な水を受け続けているガリラヤ湖

砂漠のようなこの世の中で、いつもオアシス、泉、愛の源、いのちの水の源である主、つまり、聖霊なる神と共に生きること（←ヨハネ7：37-39）。聖霊なる神によって満たされ続けること。

⇒時が来ると御霊の実を豊かに結ぶことができる。

鷲の飛び方。

積乱雲、もくもくとした入道雲。その近くに生じる上昇気流を上手く利用して、翼をかって空高く舞い上がる。

主イエス・キリストを待ち望むならば、主の大きな、そして力強い愛の力によって、翼を広げて羽ばたき、力強く昇っていくことが出来る。走ってもたゆまず、歩いても疲れない秘訣がここにある。

主イエスの愛で

(The Power of Your Love)

主よ。私はあなたのもとに行きます。

私の心をつくり変えて下さい。新しくしてください。

あなたの中に見つけたあの恵みから流れてくる愛で私を満たして下さい

私の中にある弱さが、ほこりとなるために  
あなたの愛の力によって

あなたの聖霊が導いてくださって、  
あなたの愛の力によって

あなたの傍に引き寄せて下さい  
あなたの愛が私をとりかこみますように

鷲（イーグルのように）力強くはばたく OASIS

森川先生：私ならイーグルとか、もっと力強い名前をつける。でもとってもいい名前。  
ある方：年配のイメージ

## OASIS 大作戦

まず私たち自身が主を待ち望み、主の愛で満たされ、潤される。

そして周りを潤していくことのできる OASIS として生きる。

OASIS とは、旧約聖書で約束されている全世界の祝福（の基）として生きる者たち。

OASIS とは、新約聖書で約束されている世の光、地の塩として生きる者たち。

OASIS とは、蛇口で水を一杯受け、そして草花を潤いを与える如雨露のように生きる者たち。

